

釜石市地域再生計画

平成16年6月30日（水）

釜石市 産業政策課長 佐々隆裕

スカタム21『チャレンジ・エコ』

かまいしルネサンス計画

～ものづくり150年目の挑戦～

釜石の150年にも及ぶ鉄の歴史により培われた「人・技術・産業基盤」といった『ものづくり資源』を資源循環型社会に対応した産業の創出に活用し、地域が一体となって地元経済活動の新たな胎動を呼び起こす取り組みを実施する。

計画期間 平成16年度から概ね5年間

1 釜石の歩み

2 計画の背景

3 計画の概要

4 地域に及ぼす経済的社会的効果



1 釜石の歩み



○ 安政 4(1857) 南部藩士大島高任が、我が国初めての洋式高炉を建設
→ 同年12月1日出鉄に成功

○ 明治13(1880) 工部省釜石鉄道(釜石港—大橋鉱山間)が開通
〔我が国3番目の鉄道、釜石鉄道が開通〕

○ 明治29(1896) 三陸沿岸に大津波来襲

第一転換期

○ 昭和20(1945) 終戦→戦災復興開始

○ 昭和35(1960) チリ地震津波来襲、被害総額6億3千万円

○ 昭和53(1978) 湾口防波堤の建設に着手

○ 昭和60(1985) 新日鐵釜石ラグビー部V 7達成

第二転換期

○ 平成元(1989) 新日鐵株釜石製鐵所の第一高炉休止

○ 平成12(2000) 新日鐵株釜石製鐵所、石炭火力発電事業開始

○ 平成13(2001) 釜石シーウェイブスRFC発足

○ 平成15(2003) 重要港湾釜石港、リサイクルポートに指定

○ 平成18(2006) 近代製鉄発祥から150年

第三転換期

2 計画の背景

ポテンシャル

産業基盤

臨海部低・未利用地〔21万坪〕

一貫製鐵所時代のインフラ

研究開発基盤の充実〔海洋バイオ研究所、県水産技術センター〕

物流基盤

高速道路網の整備〔横断道路・縦断道路の結節点〕

釜石港〔24時間365日荷役体制完備〕

釜石港湾口防波堤〔世界最大水深 - 63㍍〕

耐震強化岸壁〔県内唯一〕

東北最大水深岸壁〔 - 14.0㍍〕

東北初の全天候バース

リサイクルポートとしての釜石港

ソフト基盤

ものづくり文化〔製鉄150年の歴史〕

鉄の高温熔融技術の蓄積

企業誘致ノウハウの蓄積、挑戦意欲旺盛な企業家の存在

多様な誘致企業が形成する産業クラスター

ニーズ 課題

環境問題を背景とした
資源循環型社会構築への
社会的ニーズの高まり

公共投資抑制についての
国家的ニーズの高まり

釜石の抱える課題

- ・平坦地が少ない
- ・高規格幹線道路への接続に時間を要する
- ・津波災害や土砂災害を受けやすい
- ・近隣に類似政策を進める市が多い
- ・中心市街地の空洞化（大型店の撤退等）
- ・生産年齢の流出（人口減少）
- ・少子高齢化
- ・医師の不足
- ・高等教育機関がない
- ・水産業の不振
- ・若年層の就業の場が少ない
- ・一次産業の後継者不足

オンリーワン商品開発への高い意欲
マツカワ、チョウザメ(キャビア)、線材製品等

3 計画の概要

本計画は、「リサイクルエコタウン、リサイクルポート」「新エネルギー」という2分野の取り組みで構成され、低迷する地域経済、事業参画をはじめている市内中小企業に活力を与え、人間と環境が共生していく「環境の世紀」にふさわしい『環境と産業が調和したまち』を目指すものである。



基本目標 『環境と産業が調和したまち』

3 計画の概要

釜石の地域再生をかけた産業構造改革

エコタウン・リサイクルポート

フェーズ

使用済自動車リサイクル事業

水産加工廃棄物リサイクル事業

フェーズ

石炭灰ゼットサンドリサイクル事業

漁業系廃プラスチックリサイクル事業

フェーズ

漁業系廃棄物乾式メタン発酵事業

廃タイヤナノカーボンリサイクル事業

ペットボトルリサイクル事業

エネルギー関連事業

IPP石炭火力発電事業

バイオマス・廃プラスチック
等混合発電

ウィンドファーム

新たな産業との相乗効果

コバルト合金生体材料素材製造事業

釜石・大槌地域産業育成センターとの連携強化

I N S との連携強化（産学官連携）

先人達の「技」を生かした産業の担い手の育成

再生の息吹

釜石シーウェイブスRFC（地域共生チーム）

3 計画の概要

支援措置

エコタウン事業の補助採択要件の緩和〔別表2〕

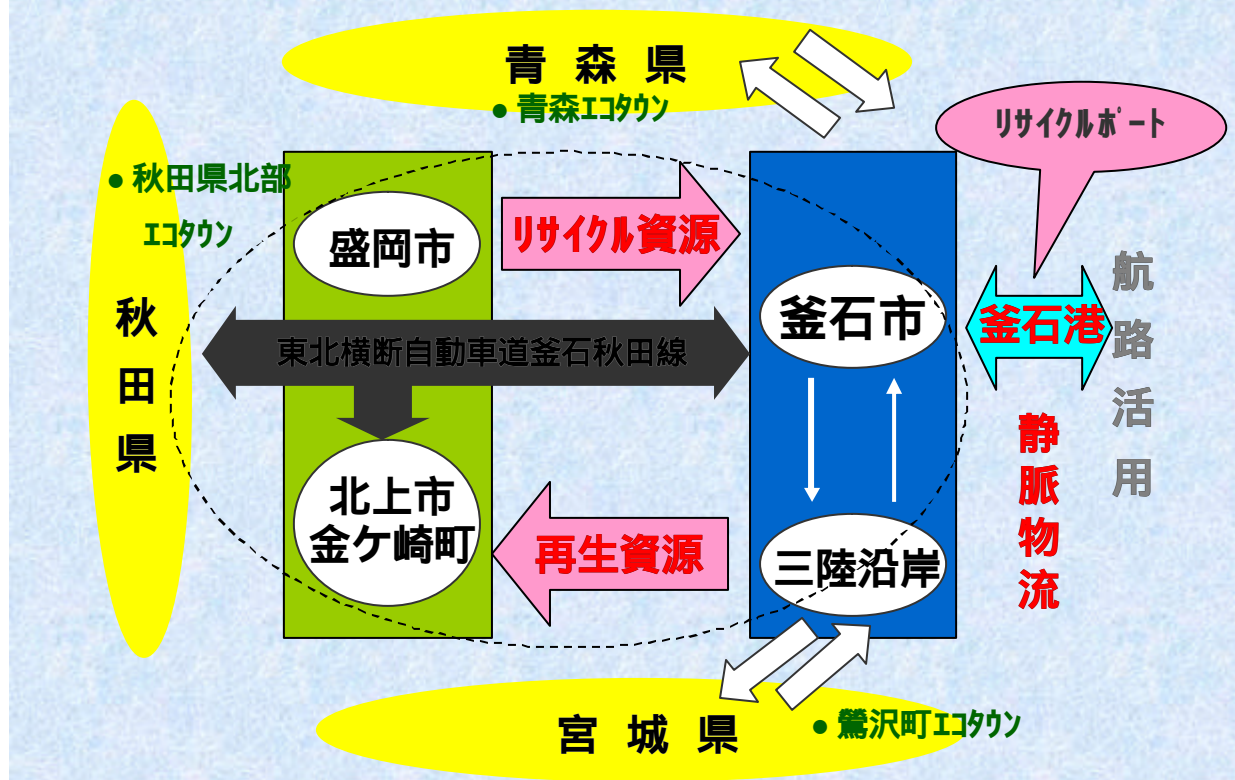
エコツーリズムに対する支援〔別表2〕

地域再生支援のための「特定地域プロジェクトチーム」の設置〔別表1〕

バイオマスタウンの実現に向けた取り組み〔別表2〕



「かまいしエコタウン」のイメージ図

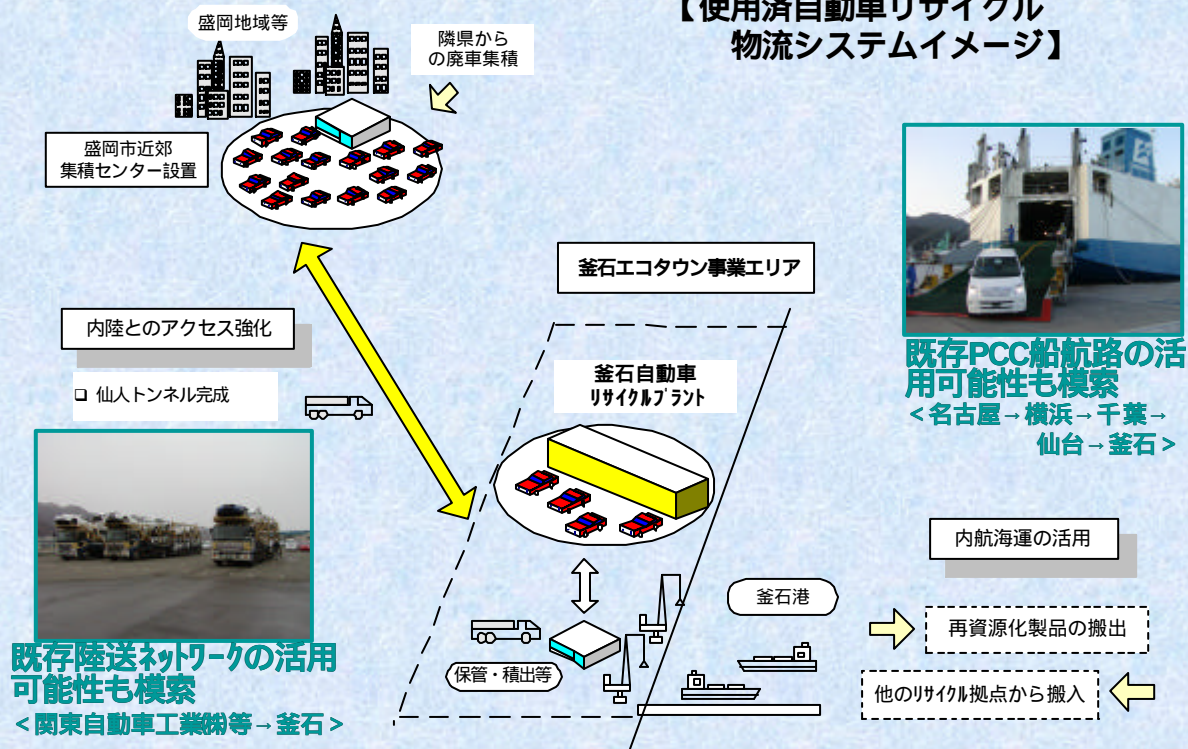


「かまいしエコタウン」

H16.11から本格稼働予定

使用済み自動車リサイクル事業

【使用済み自動車リサイクル 物流システムイメージ】



「かまいしエコタウン」

H17年度から本格稼働予定

水産加工廃棄物リサイクル事業

【原料の一部】



【製品サンプル】



旨味エキスサンプル
(原料：サケ、イワシ等)



ワカメペプチド・DHA
(原料：ワカメ等)



ワカメペプチド「RX50」
(原料：ワカメ等)

「かまいしエコタウン」

H18.4を目途に本格稼働予定

石炭灰ゼットサンドリサイクル事業

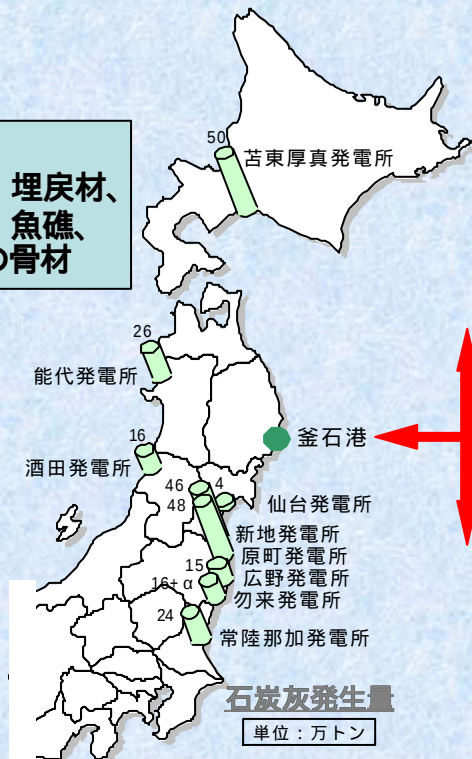
【新日本製鐵㈱の P P 石炭火力発電所】



(用途)

道路、盛土材、埋戻材、
人工海底山脈、魚礁、
消波ブロックの骨材

【石炭灰造粒砂】



リサイクルポート釜石港の特徴

(H15.4.23 リサイクルポート指定)

世界最大水深（水深63m）
を誇る「釜石港湾口防波堤」

東北最大水深（水深14m）を
誇る「新日鐵㈱南棧橋」

東北初の全天候バースを備
える「新日鐵㈱の北棧橋」

岩手県では唯一の耐震強化
岸壁を備えた「公共ふ頭」

全国でも数少ない
24時間・365
日荷役体制を完備

エコタウン事業実施サイト



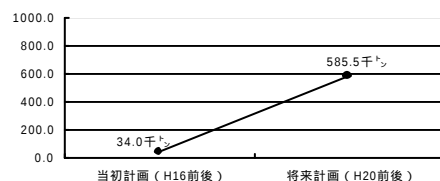
4 地域に及ぼす経済的社会的効果

- ・ 新たな雇用の創出
- ・ 地域経済活性化の起爆剤
- ・ 釜石港臨海部の低・未利用地の有効利用
- ・ 静脈物流貨物量の増加
- ・ 国内海上輸送の活性化

地域再生計画における雇用・投資効果

事業名	施設整備費 (千円)	施設要員 (人)	敷地面積 (㎡)	備 考
水産加工廃棄物リサイクル事業	200,000	21	3,305	H16年度エコタウン（ハード）事業申請
漁業系廃プラスチックリサイクル事業	-	-	-	H15年度 廃ブラの発生量と処理状況調査の実施 廃船の解体、破砕作業に要する粗コストの算出 廃ブラ製側溝フタの試作と新商品の開発検討の実施
漁業系廃棄物乾式メタン発酵事業	-	-	-	H16年度 夢泉土いけで研究戦略研究推進事業
廃タイヤナノカーボンリサイクル事業	700,000	50	30,000	企業誘致活動中
石炭灰ゼットサンドリサイクル事業	750,000	7	20,000	溶出試験を実施中
使用済自動車リサイクル事業	780,000	23	14,687	H16年12月操業開始予定
ペットボトルリサイクル事業	250,000	5	5,000	企業誘致活動中
IPP石炭火力発電所	20,000,000	40	55,000	稼動中
サーマルリサイクル（発電）事業	10,000,000	40	23,000	環境影響評価実施中
ウィンドファーム	10,000,000	6	-	H16年中商業運転開始予定（1000kW×43基）
生体材料二次加工素材事業	-	-	-	H16年度～H18年度 都市エリア産学官連携促進事業採択（文部科学省）
合 計	42,680,000	192	150,992	

釜石港リサイクルポート計画における静脈物流貨物量



釜石の再生は、地域住民の誇りとなり、次代を担う人材育成に大きく寄与する。

釜石広域ウインドファームイメージ
2004年秋稼動予定 42,900kw
(単一発電所で日本最大級)

釜石シーウェイブスRFC



『再生の息吹』

トップリーグ目指して